

各 位



経済産業省「標準化活用支援パートナーシップ制度」 全国7件中、当行3件！

優れた技術・製品に関する「標準化」をサポート

平成 28 年 11 月 30 日(水)、株式会社池田泉州銀行(頭取 藤田博久)のサポートにより、「サムテック株式会社」(所在地 大阪府柏原市、代表取締役社長 阪口善樹、以下「サムテック(株)」)が、経済産業省が創設した「新市場創造型標準化制度※1」の対象として「標準化」を行うことが決定しましたのでお知らせいたします。

今回「標準化」の対象となったのは、水素ステーションに用いる「圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器」に関する基準です。「標準化」の活用により、他社との差別化を図り、サムテック(株)の持つ技術・製品の市場での信頼性向上や展開を応援してまいります。

池田泉州銀行では、「新市場創造型標準化制度」の地元中堅・中小企業への普及を目的に、平成 27 年 11 月に創設された「標準化活用支援パートナーシップ制度※2」におけるパートナー機関として「標準化」のサポートを行ってまいりました。

平成 28 年 3 月に全国第 1 号案件をサポートして以来、これまで全国で 7 件決定されたパートナー機関による「標準化」のうち3件が、当行のサポートによるものです。

今後とも、池田泉州銀行は優れた技術を持つ中堅・中小企業を研究開発段階から市場化までトータルでサポートしてまいります。

(※1~2 は別紙をご参照下さい。)

「新市場創造型標準化制度」の活用が決定されたテーマの概要

◆提案企業	
サムテック株式会社	
◆提案テーマ	
圧縮水素蓄圧器用複合圧力容器に関する標準化	
◆提案内容の概要	
<p>水素社会の実現に向けて整備が進められている水素ステーション用の容器について、より高い安全性への対応が期待されるアルミライナーに炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を用いた高性能複合蓄圧器の性能特性評価等を標準化。</p>	<p>炭素繊維&樹脂 (CFRP)</p> <p>アルミライナー</p> <p>◆水素ステーション</p> <p>82MPa水素ステーション用複合蓄圧器</p> <p>圧縮機</p> <p>水素トレーラ</p>

※本件に関する経済産業省のプレスリリースは以下のアドレスよりご確認いただけます。
<http://www.meti.go.jp/press/2016/12/20161201004/20161201004.html>

以上

【サムテック㈱の概要】

商号	サムテック株式会社
所在地	大阪府柏原市円明町 1000 番 18
代表者	代表取締役社長 阪口善樹
資本金	9,500 万円
設立年月	昭和 24 (1949) 年 5 月
主な事業内容	自動車用鍛造品および高圧ガス容器の製造販売

※1【新市場創造型標準化制度】

中堅・中小企業等が開発した優れた技術や製品を国内外に売り込む際の市場での信頼性向上などの有力な手段となる「性能の評価方法」等の標準化を支援するため、平成 26 年 7 月に経済産業省が創設した制度です。

例えば、①企業 1 社では業界内の調整が困難、②中堅・中小企業等で、標準の原案を作成することが困難、③複数の業界にまたがる等の場合に、「新市場創造型標準化制度」を活用することで、従来の業界団体でのコンセンサス形成を経ずに、迅速な国内標準化（JIS 化）や国際標準（ISO/IEC）提案が可能になります。


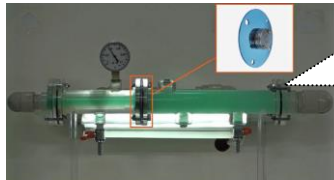
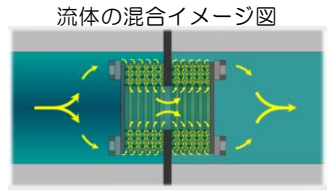
※2【標準化活用支援パートナーシップ制度】

自治体・産業振興機関、地域金融機関、大学・公的研究機関等と「一般財団法人日本規格協会」が、地域の中堅・中小企業等における標準化の戦略的活用を連携して支援することを目的に、平成 27 年 11 月に経済産業省が創設した制度です。

平成 28 年 10 月現在、日本全国で 110 機関（うち、大阪府下は 5 機関）が本制度の登録を受けています。


【これまでに当行がサポートした標準化テーマ】

①

◆提案企業	(平成 28 年 3 月採択)
アイセル(株) (所在地 大阪府八尾市、代表取締役 望月貴司)	
◆提案テーマ	「静的流体混合装置 (スタティックミキサー)」に関する標準化
◆提案内容の概要	<p>駆動部を持たない管型の「静的流体混合装置 (スタティックミキサー)」の混合性能の特性評価方法に関する標準化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;"> <p>静的流体混合装置 (スタティックミキサー)</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>流体の流れ→</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; text-align: center;"> <p>流体の混合イメージ図</p>  </div> </div>

※「標準化活用支援パートナーシップ制度」に基づく「標準化案件」全国第 1 号

②

◆提案企業	(平成 28 年 10 月採択)
(株)アクロエッジ (所在地 大阪府枚方市、代表取締役 中宗憲一)	
◆提案テーマ	「硬化樹脂の硬化収縮率連続測定方法」に関する標準化
◆提案内容の概要	<p>樹脂が硬化することについて、これまでは硬化前と硬化後とにおける違いの評価手法に留まっていたのに対し、広く産業分野において樹脂の硬化状況を連続的に把握することが必要とされていることから、樹脂が硬化する際の収縮率を連続的に測定する測定方法を標準化。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

以上